

らぼーる図書室だより

★おすすめの本(10月1日現在)

刊年	内容	タイトル・著者名	出版社	分類
2013	★	世界地図の下書き／朝井 リョウ	集英社	913
2013	★	泣き童子 三島屋変調百物語 3／宮部 みゆき	文芸春秋	913
2013	★	爪と目／藤野 可織	新潮社	913
2013	★	手の中の天秤／桂 望美	PHP研究所	913
2013	★	熱望／水生 大海	文芸春秋	913
2013	★	ようこそ、わが家(文庫)／池井戸 潤	小学館	913
2013		神様が殺してくれる／森 博嗣	幻冬舎	913
2013		愛ふたたび／渡辺 淳一	幻冬舎	913
2013		リターン／五十嵐 貴久	幻冬舎	913
2013		意地悪な食卓(文庫)／新津 きよみ	角川書店	913
2013		赤い追跡者／今井 彰	新潮社	913
2013		かもめ達のホテル(文庫)／喜多嶋 隆	角川書店	913
2013		青子の宝石事件簿(文庫)／和田 はつ子	角川春樹事務所	913
2013		本当は恐ろしいグリム童話 禁断のエロス編／桐生 操	KKベストセラーズ	940

* が付いている話題の本の内容については、下記に記載しています。

913 世界地図の下書き／朝井 リョウ

突然の事故で両親を亡くし、「青葉おひさまの家」で暮らすことになった小学生の太輔。悲しみでしばらく心を閉ざしていたが、同じ部屋の仲間たちのおかげで少しずつ打ち解けていく。とくにお母さんのように優しい高校生の佐緒里は、みんなにとって特別な存在。施設を卒業する佐緒里のため、4人の子どもたちは、…。

913 泣き童子 三島屋変調百物語3／宮部 みゆき

江戸は神田にある「三島屋」では、若い娘が、江戸中から、ふしぎな話を集めているという。そこでの約定はたった一つ。聞いて、聞き捨て。語って、語り捨て。また、ひとり、ふしぎな話を語りに三島屋へと客人が訪れる。

913 爪と目／藤野 可織

娘と継母。父。喪われた母。一。家族、には少し足りない集団に横たわる嫌悪と快感を、律動的な文体を描ききった戦慄の純文学的恐怖作。「あなた」のすべてを「わたし」は見ている。衝撃の第149回芥川賞受賞！

913 手の中の天秤／桂 望美

刑務所に送るか送らないかを決めるのは、遺族。執行猶予付きの判決が出たとき、もし被害者や遺族が、加害者を刑務所に入れるかどうか決める権利を持ったら…。人を憎むこと、許すこととは何かを大胆な設定で描く、感動の長編小説。

913 熱望／水生 大海

どうして、どうしてこんなに頑張っているわたしが幸せになれないのだろう。貸しは絶対に返してもら、わたしをばかにした男たちからこの世間から。「私はただ幸せになりたかっただけなのに」。三十路、独身、派遣OLの春菜は、男に騙され、仕事も切られ、騙す側になると決めた。

913 ようこそ、わが家へ／池井戸 潤

真面目なだけが取り柄の会社員・倉田太一は、ある夏の日、駅のホームで割り込み男を注意した。すると、その日から倉田家に対する嫌がれせが相次ぐようになる。戦慄のストーカー、怯える家族、職場の敵。手に汗握る攻防の行方は？